



野木町長
真瀬宏子

大切なこと

今年には新型コロナウイルスに明け暮れた年といっても過言ではなく終わろうとしています。収束までの道は遠く、気も晴れない日々であるかと拝察いたします。コロナに苦しんでおられる方々を思うと、本当に胸が痛みます。

さらに新型コロナウイルスの感染リスクにもめげずに立ち向かって下さっている医療保健、介護関係の皆様には敬意を表するとともに、心より感謝いたします。また私たちの日常生活を支えて頂いているすべての皆様にも、心から感謝御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染抑制に向けては「3密を避ける。うがい、手洗い、マスクを忘れずに！」を当面の間守り続けていかなければなりません。最低限必要なこととして私たちは頑張っていかなければと思います。

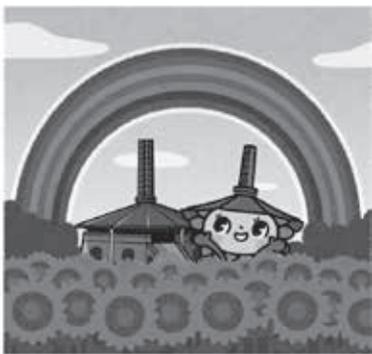
今こそみんなで支え合い協力し合って少しずつウィズコロナ、アフターコロナの上手な暮らし方を

工夫しなければと思います。特に弱い立場の人々にしわ寄せや被害が及ばないようにと祈っています。私たちは優しい思いやりで支え合っていくことが大切だと思います。

憎むべきは何といっても新型コロナウイルスです。コロナに負けない、新しい生活様式を確立して、お互いを思いやる優しい関係が保っていければと思います。

最近はまだなかなか直接触れ合えないことも多く、不安材料は増すばかりですが、お互いへの温かい思いやりで幸せが少しでも実感できるよつに、と祈っております。

どうぞコロナに負けずに、よいお年をお迎えください。



～ ただいま、おかえりって言いあえるまちに～
みんなで広げよう「シトラスリボンプロジェクト」



Citrus
Ribbon
PROJECT

当たり前と思っていた「ふだんの暮らし」を揺さぶっている新型コロナウイルス（COVID19）。今や、どこにいても何をしていても、いつだってだれだって感染のリスクはゼロではありません。

たとえウイルスに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会に…そんな願いから「シトラスリボンプロジェクト」は生まれました。

シトラスリボンの3つの輪は、地域・家庭・職場（学校）を表し、リボンを身に付けることで「ただいま」「おかえり」の気持ちを表します。

新型コロナウイルスに感染された方々やそのご家族、医療の最前線で働かれている方々が差別されることの無いやさしさにあふれる社会をみんなで作っていきましょう。

コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。